

●編集顧問／牧野永城、菅原克彦、阿部令彦、出月康夫、武藤輝一、田島知郎、萩原 優、北島政樹、炭山嘉伸

●編集委員／跡見 裕、畠山勝義、桑野博行、宮崎 勝、島津元秀、渡邊聡明

●編集同人／佐野圭司、近藤芳夫、阪口周吉、鈴木章夫、秋山 洋、塩谷信幸、諏訪邦夫、岡崎春雄、松元輝夫、折田薫三、細田泰之

インドのニューデリーで開かれた学会に参加してきた。ビザが必要であることから、旅行社を介して申請することにしたが、雲行きが怪しくなった。学会の参加ということでビザ申請に必要な用紙が送られてきた。学会の招待状、大学の推薦状等が必要であり、また申請用紙は父の名前まで記入しなければならないものであった。この歳になって父の名前が必要とは思ってもよらなかったが、一応すべての項目を埋めた。招待状はメールによるものを印刷して添付した。書類を作り上げ、旅行社の方に手続きをしてもらう段になって、問題が起きた。招待状は正式な文書でなくては認められないとのことであった。あわてて、インドの学会本部に正式な招待状を依頼したが、なかなか届かない。

在日インド大使館に電話してみると、ビザは別の部局（よく分からないが、どこかに委託しているのか？）の担当であるとのこと。早速そこに電話をしてみた。やはり正式なものでなくては駄目だという。こちらも感情的になり、「インドは医学会の参加に否定的なのか」などと激しくやり取りをしたが、当然のごとく先に進まない。あきらめざるを得ないかと思い始めたとき、ある会で某大学の教授に会った。インドのビザの話をしたら、彼は関西にある領事館に直接書類を持っていったという。厄介な書類を出そうとしたら、事務員が「それは大変面倒ですから引っ込めて、観光ビザを申請してください」と言い、あっという間にビザの取得ができたとのことであった。

早速試してみると、あっという間に観光ビザを得ることができた。インドの学会でアメリカの知人とこの話をする、彼もまったく同じ体験を披露した。彼は私より10歳年上であり、父親の名前の記入欄について理解することができなかったとのこと。さらに彼は銀行の預金先まで提出させられたらしい。今思うとアメリカの金融危機の先取りであったのだろうか。

(跡見 裕)

臨床外科 (第63巻第13号)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

2008年12月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5%)
2008 年 年ぎめ予約購読料 38,960 円 (税込)
(送料弊社負担・増刊号を含む 13 冊)

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp
担当 田村・阿部・中田
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- JICLS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌を複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(03-3817-5670)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。